

執筆者紹介

古橋エツ子 (ふるはし えつこ)

編者, 第1章

花園大学名誉教授／社会保障

社会保障は恋人です。なぜなら、目が離せないから！しっかりと見つめて、仲良くしましょう。

国京則幸 (くにきょう のりゆき)

第2章

静岡大学人文社会科学部教授／社会保障法, 医療保障法

社会保障では「事実」を知ることが大切。そしてそれを踏まえて考え(悩み!?)続けることが必要です。

呉 紅敏 (ご こうびん)

第3章, 第10章

大阪経済法科大学教養部教授／社会保障法・社会福祉法

学生諸君が大学を卒業し, 社会で重責を担う年齢に達したときに自分自身で社会保障制度の動向を評価できる基礎知識を身につけてくださればと思います。

倉田賀世 (くらた かよ)

第3章コラム

熊本大学法学部教授／社会保障法とくに育児支援政策

わが国の現状に社会保障制度が対応できているのか, 本書を通じて皆さん自身に考えて欲しいと思います。

田中明彦 (たなか あきひこ)

第4章

龍谷大学社会学部教授／社会保障法・年金保障法

私たちの生活と年金との関わりをpushさえたうえで, 安心して暮らすことができる年金制度のあり方について考えていただきたいです。

廣瀬真理子 (ひろせ まりこ)

第5章

東海大学教養学部教授／社会保障法政策

最近, 社会保障制度に次々と「見直し」が行われていますが, 今こそ, なぜ社会保障が必要とされてきたのか, 原点に立ち戻って考えてみるのが大切だと思います。

高田清恵 (たかた きよえ)

第6章

琉球大学法文学部教授／社会保障法

社会保障について学ぶときは, ぜひ自分の生活と社会保障制度との関わりは? という視点をもって学んでみてください。

三好 禎之 (みよし よしゆき)

第7章

名古屋経営短期大学健康福祉学科教授／地域福祉論，生活構造論

社会福祉に関する歴史を学びましょう。それは，社会福祉の古典にふれることで現代社会の課題を知り，将来の社会福祉への展望をえがくことができるからです。

高橋美知子 (たかはし みちこ)

第8章

佛教大学講師／児童福祉

すべての子ども・子育て家庭を対象としたソーシャルワークの実践には，社会保障の基本と仕組みを学ぶことが大切です。

鈴木 静 (すずき しずか)

第9章

愛媛大学法文学部教授／社会保障法

2016年8月に起きた「やまゆり園事件」に衝撃を受け，今も考え続けています。障害がある人の人権保障が根本から問われています。私たちはどのような社会に生き，どのような社会を目指すのか，一緒に考えましょう。

和田美智代 (わだ みちよ)

第11章

宝塚医療大学保健医療学部教授／社会保障法，家族福祉

不安の増加する社会です。国の対応は遅れがちです。しっかり学び，賢い国民になりましょう。

脇野幸太郎 (わきの こうたろう)

第12章

長崎国際大学人間社会学部准教授／社会保障法，社会福祉法制論

なぜ社会保障について学ぶ必要があるのか。この問いに対するみなさん自身のこたえを，本書を通じて見出してください。

原田欣宏 (はらだ よしひろ)

第13章

高崎健康福祉大学健康福祉学部講師／社会福祉，介護福祉

法律や制度に生命を吹き込むのは福祉の担い手である皆さんです。本当にその支援で正しいか，一緒に考え続けましょう。

中川陽子 (なかがわ ようこ)

第14章

大阪こども専門学校専任講師／社会福祉・家庭支援論

めまぐるしく変化していく社会情勢をしっかりと把握し，社会福祉関連専門職としての知識を深めていきましょう。